

平成29年度起業体験ワークショップ実施報告

1. 趣旨

- 「地方創生人材」の育成及び育成環境の整備に向けて、地域全体が起業・創業に向かう機運を醸成し、その担い手となる起業家精神とスキルを持った人材を効果的に育てる手法の検討のため、起業体験ワークショップを実施しました。

2. 実施結果

- 実施日：平成30年3月21日（水）
- 参加者：約80名
【内訳】市内小学生（24名）、講師（3名）、銀行員役（4名）、参加者補助（5名）、保護者等（約30名）、事務局（約15名）

3. 実施内容

① 指導者教育（3月20日 17:00～）

銀行員役としてご指導頂く、荘内銀行、山形銀行、山形中央信用組合、米沢信用金庫（50音順）、会社運営を指導する山形大学の大学生が、起業家教育の背景、意義、プログラムの事例、指導方法についてトレーニングを受けました。



① オープニング・アイスブレイク（9:00～）



遠藤副市長の開会挨拶に続き、アイスブレイクとして、「人前で話す」ことに全員が挑戦しました。最初は恥ずかしい思いもありましたが、きちんと発表ができました。

② 会社をつくる（10:00～）

「会社を作り、運営する」全ての流れを自分たちで考えます。自分の得意なことを発見し、また他人の得意なことを認める力を養いました。

テーマ「あったらいいな。長井らしいお土産」に沿った商品をつくるためのニーズ調査



や、計算する力、論理的思考、情報収集力、チームワーク、想像力などあらゆる力を結集して、「事業計画」を策定します。大人顔負けの作業です。



③ 金融機関開店 (13:00~)

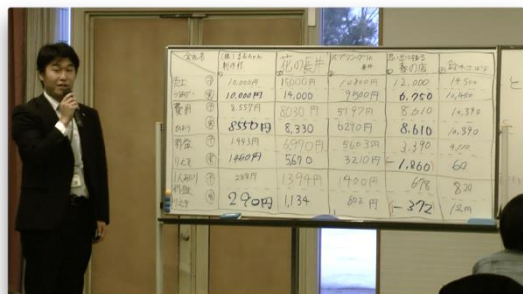


作成した事業計画を使い、銀行担当者からの質問に対してもしっかりと回答し、融資を受けることが出来ました。プレゼンテーション力、人の話を理解し、それを生かす力、論理的能力、ディスカッションする力を養うことができます。厳しい「審査」を突破し、事業資金を手にした子供たちの表情には、「安堵と自信」が出てきます。

④ 販売、振り返り (16:20~)

大きな声で呼び込んだり、ポスターをもってお客様の中でPRするなどの工夫も見られました。きちんとマナーを守り、しっかりと自分たちの商品を販売しました。

最後に集計を行い、返済を行います。返済の際には借入金の5%を「お礼」として一緒に返済します。子供たち



は、金融機関の役割、社会の仕組みについて学ぶことができました。

振り返りでは、銀行員役の皆様からお褒めの言葉も頂きましたが、利益率や売上高について各社ご指摘がありました。金融担当者の方からは「会社は続くものです」との厳しくも温かいお言葉を頂きました。

4. 参加者の声

○ 参加者 (小学生) の声

- ✓ 学校ではできない良い経験ができた。ぜひまた参加したい。
- ✓ 今日の経験を将来に活かしたい。
- ✓ 商品を作ったり、銀行からお金を借りるところが楽しかった。
- ✓ 初めは難しかったけど、皆と協力することでできるようになったのがよかった。
- ✓ お金の大切さをちゃんと学べて、チームワークよく楽しくできてよかった。

○ 保護者の声

- ✓ いきいきと、チームワークよく取り組んでいるのが印象的だった。
- ✓ 長井でこのような取組が開催されることに感動した。
- ✓ 軽い気持ちで子どもを参加させたが、融資など本格的で驚いた。
- ✓ ワークショップ参加後、子どもが家業に関心を持つようになった。

○ 銀行員役の声

- ✓ 非常に素晴らしい取組、子どもたちの頭の良さに驚いた。